

『<標準臨床検査学> 生理検査学・画像検査学』(第1刷～第3刷) 正誤表

2015年12月現在

刷数	訂正箇所	誤	正
1, 2	35頁・図57の図中の文字	a. 二峰性 P b. 二峰性 P	a. 二相性 P b. 二相性 P
1, 2	35頁・図57の説明文・3行目	…陰性成分が深い <u>2</u> 相性, …	…陰性成分が深い <u>二</u> 相性, …
1, 2	162頁・表14・「間質性肺炎」の「コンプライアンス」の欄	↑	↓
1, 2	163頁・「本章を理解するためのキーワード」内	…REM睡眠では <u>自</u> 律神経…	…REM睡眠では <u>自</u> 律神経…
1, 2	17頁・左段下から8行目	sinus <u>tachycardia</u>	sinus <u>bradycardia</u>
1, 2	17頁・左段下から2行目	洞性 <u>徐</u> 脈	洞性 <u>頻</u> 脈
1, 2	212～216頁, 220～223頁, 225頁, 227頁, 249頁	伝 <u>播</u>	伝 <u>搬</u>
1, 2	229, 230	伝播	伝播(伝搬)
1～3	5頁・左段下から2行目, 12頁・右段下から2行目	<u>計測</u>	<u>検出</u>
1～3	5頁・右段下から1行目	Purkinje(プルキンエ)線維→ <u>心室</u>	Purkinje(プルキンエ)線維→ <u>脚</u> →心室
1～3	6頁・左段上から5行目	<u>1895</u> 年	<u>1903</u> 年
1～3	6頁・図1図中	左脚 <u>後</u> 枝	左脚 <u>前</u> 枝
1～3	6頁・図1図中	左脚 <u>前</u> 枝	左脚 <u>後</u> 枝
1～3	9頁・右段上から15行目	補正QT間隔: 正常範囲は, 0.35秒から0.44秒である。目視では, …	補正QT間隔(<u>QTc</u>): 正常範囲は, 0.35秒から0.44秒である。 <u>心拍数が正常範囲の場合</u> , 目視では, …
1～3	10頁・左段下から13行目	…、P波の形が <u>II, III, aVF</u> 誘導で…	…、P波の形が <u>I, II, aVF</u> 誘導で…
1～3	11頁・左段上から19行目	…、I誘導, II誘導, <u>III誘導</u> , aVF誘導で…	…、I誘導, II誘導, aVF誘導で…
1～3	11頁・右段上から12行目	…、1つの不関電極(<u>電位は0</u>)との間の…	…、1つの不関電極との間の…
1～3	13頁・右段上から9行目	記録 <u>器</u> の	記録 <u>紙</u> の
1～3	18頁・図23, 図24説明文	<u>洞性P波</u> を認め, …	<u>P波</u> を認め, …
1～3	18頁・図24図中	<u>V₁</u> <u>V₂</u>	<u>I</u> <u>II</u>
1～3	19頁・図26bのch.2波形下	<u>洞停止3.76秒</u>	<u>3.76秒</u>

1～3	19 頁・図 26 説明文	… <u>洞停止</u> を認めた(b).	… <u>RR 間隔の延長</u> を認めた(b).
1～3	21 頁・左段上から 4 行目	…右脚ブロック型になる(図 27b).	…右脚ブロック型になる <u>ことが多い</u> (図 27b).
1～3	22 頁・図 31 説明文	…見つけることは困難である.	…見つけることは <u>やや</u> 困難である.
1～3	22 頁・左段上から 2 行目	…150～ <u>200</u> /分で,	…150～ <u>240</u> /分で,
1～3	22 頁・サイドメモ内	…や <u>伸筋梗塞部</u> の周囲を…	…や <u>心筋梗塞部</u> の周囲を…
1～3	23 頁・左段上から 3 行目	<u>200</u> ～350/分の…	<u>250</u> ～350/分の…
1～3	24 頁・左段下から 2 行目 25 頁・図 36 説明文	<u>不完全右脚ブロック</u> と…	<u>右脚ブロック様波形</u> と…
1～3	25 頁・図 36 図中	第 3 肋 <u>骨</u> で記録	第 3 肋 <u>間</u> で記録
1～3	26 頁・左段下から 2 行目	<u>1 拍ごとに房室ブロックを示す高度房室ブロック</u> や, …	<u>2 : 1 房室ブロック</u> や, …
1～3	28 頁・図 42	V ₅ と V ₆ の矢印	<u>削除</u>
1～3	28 頁・図 42 説明文	… <u>QRS 波は上向き(矢印)を示す</u> .	… <u>結節やスラー</u> を認める.
1～3	28 頁・左段上から 3～5 行目	(0.12 秒以内) (0.10 秒以上)	<u>削除</u> <u>削除</u>
1～3	28 頁・右段上から 1 行目	補正 QT 間隔は 0.44 秒 <u>以上を示す</u> .	補正 QT 間隔(QTc)は 0.44 秒 <u>より長くなる</u> .
1～3	30 頁・右段上から 8 行目	…胸痛 <u>で</u> 発症することが多い.	…胸痛を <u>伴って</u> 発症することが多い.
1～3	33 頁・図 54b	① <u>下向き型</u> ST 低下 ② <u>水平型</u> ST 低下	① <u>水平型</u> ST 低下 ② <u>下向き型</u> ST 低下
1～3	35 頁・図 57 説明文	… (<u>0.10 秒以上</u> , 僧帽性 P とよばれる)… …0.04 mm/ <u>秒</u> 以上の場合を, …	… (僧帽性 P とよばれる)… …0.04 mm・ <u>秒</u> 以上の場合を, …
1～3	35 頁・図 59	図 59 心電図上の左房負荷所見と <u>心エコー法による左房拡大との関連</u> 本例では Morris index 陽性(a)で, 心エコー検査でも左房拡大を認める(b).	図 59 心電図上の左房負荷所見 <u>※図 59b を削除</u>
1～3	36 頁・左段上から 1 行目	…(<u>高さ 2.5 mm 以上</u> , 肺性 P とみいう)を…	…(肺性 P とみいう)を…
1～3	36 頁・図 61 説明文	<u>肥大型心筋症例</u> の心電図.	<u>大動脈弁狭窄症例</u> の心電図.
1～3	38 頁・右段下から 2 行目	…5 mm <u>以下</u> もしくはすべての胸部誘導で 10mm <u>以下</u>)…	…5 mm <u>未満</u> もしくはすべての胸部誘導で 10mm <u>未満</u>)…
1～3	39 頁・図 65 説明文	肺血栓塞栓症例の心電図.	<u>慢性</u> 肺血栓塞栓症例の心電図.
1～3	40 頁・図 70 説明文	…の心電図. すべての四肢誘導で QRS 波高が 5 mm <u>以</u>	…の心電図. <u>II 誘導を除く</u> すべての四肢誘導で QRS

		下の…	波高が5 mm 未満の…
1～3	41 頁・図 71a 説明文	…，陽性 U 波(矢印)を…	…，陽性 U 波の増大(矢印)を…
1～3	41 頁・図 72 説明文	a. …QT 間隔の延長(補正 QT 間隔 0.64 秒)を… b. …QT 間隔の短縮(補正 QT 間隔 0.35 秒)を…	a. …QT 間隔の延長を… b. …QT 間隔の短縮を…
1～3	41 頁・右段キーワード内	⑤…速度が昇降する… ⑥…を漸損できる…	⑤…速度で昇降する… ⑥…を漸増できる…
1～3	44 頁・表 11	※ 数値に誤りあり	※ 修正後の表 11 は この PDF ファイルの最後のページをご覧ください。
1～3	48 頁・左段下から 2 行目	また、下壁虚血による ST 変化の検出にも有用である。	削除
1～3	51 頁・左段上から 4 行目	…とよばれ、補充収縮の QRS 幅は狭く、比較的良性的な…	…とよばれ、比較的良性的な…
1～3	127 頁・表 3 内	日本呼吸器学会(2001 年) VC(男性)=0.045×身長(m)-0.023×年齢-2.258 VC(女性)=0.032×身長(m)-0.018×年齢-1.178	日本呼吸器学会(2001 年) VC(男性)=0.045×身長(cm)-0.023×年齢-2.258 VC(女性)=0.032×身長(cm)-0.018×年齢-1.178
1～3	231 頁・右段下から 3 行目	…縦断する矢状断面(右室流出路長軸断面)および水平方向に肺動脈を見上げる水平断面で観察する。	…縦断する右室流出路長軸断面および肺動脈を見上げる横方向の断面で観察する。
1～3	233 頁・図 40 説明文	…胸骨左縁からの矢状断面(右室流出路長軸断面、C1)や水平断面(C2)で観察する。…やや左下方からの矢状断面(C1)、水平断面…。なお、肺動脈弁や三尖弁を観察する矢状断面は、…	…胸骨左縁からの矢状方向の断面(右室流出路長軸断面、C1)や横方向の断面(C2)で観察する。…やや左下方からの水平方向の断面…。なお、肺動脈弁や三尖弁を観察する矢状方向の断面は、…
1～3	234 頁・図 42 説明文	心窩部からの下大静脈の観察には、矢状断面(F1)と水平断面(F2)を用いる。下大静脈径(IVCD)は矢状断面で計測することが多い。	心窩部からの下大静脈の長軸断面(F1)と短軸断面(F2)で、下大静脈径(IVCD)の計測やその呼吸性変動を観察する。
1～3	234 頁・左段上から 1 行目	…矢状断面と水平断面(胸骨左縁四腔断面)で観察する。右室と右房の長軸に合わせた右室流入路長軸断面も三尖弁の観察に使われる。	…水平方向の胸骨左縁四腔断面と右室と右房の長軸に合わせた右室流入路長軸断面などで観察する。
1～3	234 頁・右段上から 2 行目	矢状断面と水平断面により下大静脈の太さや断面形態を観察する。	下大静脈の長軸および短軸断面でその太さや断面形態を観察する。
1～3	239 頁・左段下から 8 行目	右房圧を一定(たとえば 5 mmHg)と仮定すると、…	右房圧を下大静脈の径や呼吸性変動の程度から推定し(3, 5 ないし 15mmHg)これに先の圧較差を加算すると、…

1～3	242 頁・図 54 図中, 説明文	D. 心尖部短軸像 米国心エコー学会が… <u>なお</u> , 長軸方向の…各区域と を対応させている.	D. 心基部短軸像 米国心エコー学会が…長軸方向の…各区域とを対応 させている. <u>なお</u> , これに心尖先端部分を別区域と する 17 区域分類が使われることもある.
1～3	242 頁・左段上から 9, 13 行目	…カラードプラ法で肺動脈矢状・水平断面で肺動脈 分岐部から… 肺動脈弁狭窄では, <u>肺動脈矢状断面などで</u> 肺動脈 弁にドーム形成を認める. …	…カラードプラ法で肺動脈分岐部から… 肺動脈弁狭窄では, 肺動脈弁にドーム形成を認め る. …

表 11 Master の 2 段階昇降試験：マスターシングル法の昇降必要回数

年齢 体重(kg)	5～9		10～14		15～19		20～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～49		50～54		55～59		60～64		65～69	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
18～22	35	35	36	35	33	33																				
23～27	33	33	35	33	32	32																				
28～31	31	31	33	32	31	30																				
32～36	28	28	32	30	30	29																				
37～40	26	26	30	28	29	28	29	28	29	28	28	27	27	26	27	24	26	23	25	22	25	21	24	21	23	20
41～45	24	24	29	27	28	26	28	27	28	26	27	25	27	24	26	23	25	22	25	22	24	21	23	20	22	19
46～49	22	22	27	25	27	25	28	26	28	26	27	25	26	24	25	23	25	22	24	21	23	20	22	19	22	18
50～54	20	20	26	23	26	23	27	25	27	25	26	24	25	23	25	22	24	21	23	20	23	19	22	18	21	18
55～59	18	18	24	22	25	22	26	24	27	24	26	23	25	22	24	21	23	20	22	19	22	19	21	18	20	17
60～63	16	16	23	20	24	20	25	23	26	23	25	22	24	21	23	20	23	19	22	19	21	18	20	17	20	16
64～68			21	18	23	19	24	22	25	22	24	21	24	20	23	19	22	19	21	18	20	17	20	16	19	16
69～72			20	17	22	17	24	21	25	20	24	20	23	19	22	18	21	18	20	17	20	16	19	16	18	15
73～76			18	15	21	16	23	20	24	19	23	19	22	18	22	18	21	17	20	16	19	16	18	15	18	14
77～81					20	13	22	19	23	18	23	18	22	17	21	17	20	16	19	16	18	15	18	14	17	13
82～86					18	13	21	18	23	17	22	17	21	17	20	16	19	16	19	15	18	14	17	14	16	13
87～90					18	12	20	17	22	16	21	16	21	16	20	15	19	15	18	14	17	13	16	13	15	12
91～95							19	16	21	15	21	15	20	15	19	14	18	14	17	13	16	13	16	12	15	11
96～99							18	15	21	14	20	14	19	14	18	13	17	13	17	13	16	12	15	11	14	11
100～104							17	14	20	13	20	13	19	13	18	13	17	12	16	12	15	11	14	11	13	10

マスターシングル法では、40歳70kgの男性では、22回(色丸)の階段昇降を1分半で行う。

マスターダブル法では、その2倍(44回)の階段昇降を3分間で行う。